



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場会社名 アマテイ株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 5952 URL <http://www.amatei.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾根 拓  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 古市 健治 (TEL) 06(6411)1236  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,426	△0.4	9	△48.1	9	134.6	6	—
24年3月期第2四半期	2,435	△5.0	17	△76.7	4	△92.9	△33	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △22百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △57百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	0.51	—
24年3月期第2四半期	△2.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,811	784	15.7
24年3月期	4,879	806	15.9

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 755百万円 24年3月期 776百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	0.00	0.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	1.0	80	109.7	45	493.4	30	—	2.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期2Q	12,317,000株	24年3月期	12,317,000株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	46,312株	24年3月期	46,312株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期2Q	12,270,688株	24年3月期2Q	12,271,475株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(7) 重要な後発事象 .....	11
4. 補足情報 .....	12
生産、受注及び販売の状況 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかな回復傾向にあるものの、長期化する円高や欧州政府債務危機の問題に加え、世界経済の減速感もあり、先行き不透明ななかで推移いたしました。

このような事業環境のなか、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,426百万円(前年同四半期2,435百万円)となり、前年同四半期と比べ建築・梱包向は増収となりました。電気・輸送機器向は、電気業界の円高の長期化による海外シフトの加速により、国内生産が落ち込んだため減収となりました。営業損益は、電気・輸送機器向が、前述の電気業界の不振による売上高の減少により、固定費を吸収できなくなり営業損失となったため、当社グループの営業利益は9百万円(前年同四半期17百万円)となりました。また、経常利益は、生命保険の解約返戻金の計上の影響もあり9百万円(前年同四半期4百万円)となりました。四半期純利益は、固定資産除却損4百万円と少数株主損失2百万円の計上により、6百万円(前年同四半期は33百万円の損失)となりました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## (建設・梱包向)

建設・梱包向セグメントは、本格的な需要の回復には至っていませんが、徐々に需要の回復が見込める状況となっております。当事業の売上高は、前年同四半期比1.1%増の1,891百万円となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ24百万円増加し、110百万円となりました。

## (電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向セグメントは、ユーザーの海外シフトの加速により、国内生産が落ち込んだ結果、当事業の売上高は、前年同期比4.9%減の537百万円となり、セグメント利益は3百万円の損失(前年同四半期は31百万円の利益)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は4,811百万円(前連結会計年度末〔以下「前年度末」という〕比68百万円減)となりました。流動資産は、前年度末に比べ7百万円増加し、2,785百万円となりましたが、これはたな卸資産が、主に建設・梱包向の輸入商品の在庫が減少したことにより、34百万円減少し、受取手形及び売掛金が、電気・輸送機器向において増え、48百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は、前年度末に比べ76百万円減少し、2,025百万円となりました。これは有形固定資産が、減価償却費73百万円などにより46百万円減少し、投資有価証券の時価が第2四半期連結会計期間末の株価の下落により、29百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前年度末に比べ46百万円減少し、4,026百万円となりました。流動負債は、前年度末に比べ12百万円増加し、2,743百万円となりました。これは支払手形及び買掛金は減少したものの、短期借入金、その他が増加したことによるものであります。固定負債は、前年度末に比べ58百万円減少し、1,283百万円となりました。これは長期借入金が減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、784百万円となり、前年度末に比べ22百万円減少しました。これは主に、その他有価証券評価差額金が、投資有価証券の時価の下落により、前年度末4百万円であったものが、△21百万円となったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前年度末の15.9%から15.7%となり、1株当たり純資産は63.25円から61.61円となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動により61百万円の収入があり、投資活動により26百万円、財務活動により38百万円の支出があったことにより、資金は前年度末に比べ2百万円減少し、539百万円となりました。

##### ・営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務が25百万円減少しましたが、減価償却費81百万円などにより、営業活動で得られた資金は61百万円となりました。(前第2四半期連結累計期間は136百万円の支出)

##### ・投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出が21百万円であったことなどにより、投資活動に使用した資金は26百万円となりました。(前第2四半期連結累計期間は22百万円の支出)

##### ・財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の純減が23百万円であり、長期借入金は、新規に200百万円を借入れしましたが、返済による支出が214百万円であった結果、財務活動に使用した資金は38百万円となりました。(前第2四半期連結累計期間は142百万円の収入)

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月14日に発表いたしました平成25年3月期の第2四半期(累計)連結業績予想は、平成24年11月1日に修正いたしました。なお、通期連結業績予想は、電気・輸送機器向においては不透明ですが、建設・梱包向については増収増益が見込めるため、修正しておりません。

わが国経済は、日銀の金融緩和、米国経済の回復、復興需要等で緩やかな回復が見込まれておりますが、欧州危機、円高、貿易収支の赤字などにより減速感が増しております。

第3四半期連結会計期間以降のセグメント毎の業績見通しは、次の通りであります。

#### (建設・梱包向)

主たる需要先である住宅の着工戸数は、前述の日本経済の状況により、雇用・所得環境、建設労働者の需給状況等を注視する必要がありますが、平成24年度の住宅着工戸数は約87万戸(前年度比4%アップ)で推移しており、第3四半期会計期間以降は、消費増税関連の駆け込み需要も出てくると考えられることから、緩やかながら需要は改善していくと考えます。また、第3四半期から設備集約等の投資を実施し、一時的に製造コストが上がりますが、原材料である線材価格は安定しており、需要増による特許製品「木割れ最強釘」やOEM商品等の拡販で増収増益を予想しております。

(電気・輸送機器向)

電気産業向の売上の落ち込みは避けられず、自動車の軽量化や製造工程の簡素化等トータル・コストの削減に寄与する新商品の開発・拡販により、売上を維持・拡大すべく活動中であります。その効果も出始めていますが、自動車業界もエコカー補助金の終了に加え、日中関係の悪化による完成車輸出減等で、当初予想より事業環境は悪化しており、第3四半期以降の見通しは不透明な状況にあります。

当連結会計年度(平成25年3月期)の通期業績見通しにつきましては、連結売上高5,000百万円、連結営業利益80百万円、連結経常利益45百万円、連結当期純利益30百万円のままとし、修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	541,525	539,101
受取手形及び売掛金	1,216,081	1,265,030
商品及び製品	648,240	590,336
仕掛品	178,558	184,045
原材料及び貯蔵品	175,455	193,645
繰延税金資産	3,763	3,662
その他	19,663	14,928
貸倒引当金	△4,859	△4,771
流動資産合計	2,778,429	2,785,978
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	630,171	606,592
機械装置及び運搬具(純額)	488,500	469,683
土地	793,421	793,421
その他(純額)	25,759	21,486
有形固定資産合計	1,937,852	1,891,183
無形固定資産		
ソフトウェア	13,464	11,544
その他	20,811	19,119
無形固定資産合計	34,275	30,664
投資その他の資産		
投資有価証券	92,207	63,178
その他	62,451	65,577
貸倒引当金	△25,530	△25,350
投資その他の資産合計	129,128	103,406
固定資産合計	2,101,256	2,025,254
資産合計	4,879,686	4,811,232

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	836,265	810,984
短期借入金	1,714,830	1,732,222
未払法人税等	4,052	4,451
賞与引当金	28,260	27,646
その他	147,378	167,954
流動負債合計	2,730,786	2,743,258
固定負債		
長期借入金	1,196,825	1,141,345
繰延税金負債	2,718	23
退職給付引当金	116,743	117,166
役員退職慰労引当金	23,162	22,310
資産除去債務	2,496	2,513
固定負債合計	1,341,944	1,283,358
負債合計	4,072,730	4,026,616
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	40,181	40,181
利益剰余金	119,083	125,339
自己株式	△2,844	△2,844
株主資本合計	771,636	777,892
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,442	△21,893
その他の包括利益累計額合計	4,442	△21,893
少数株主持分	30,876	28,616
純資産合計	806,955	784,615
負債純資産合計	4,879,686	4,811,232



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	2,435,159	2,426,221
売上原価	2,004,299	2,007,111
売上総利益	430,859	419,109
販売費及び一般管理費	412,923	409,803
営業利益	17,935	9,306
営業外収益		
受取利息	16	13
受取配当金	3,346	580
受取賃貸料	3,300	3,300
技術指導料	1,200	3,000
保険解約返戻金	—	15,444
その他	6,757	4,020
営業外収益合計	14,620	26,357
営業外費用		
支払利息	22,526	21,264
その他	5,831	4,550
営業外費用合計	28,357	25,814
経常利益	4,198	9,849
特別利益		
固定資産売却益	915	—
特別利益合計	915	—
特別損失		
固定資産除却損	1,539	4,732
災害による損失	38,752	—
特別損失合計	40,292	4,732
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△35,177	5,117
法人税、住民税及び事業税	1,305	2,580
法人税等調整額	△550	△1,457
法人税等合計	754	1,123
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△35,932	3,993
少数株主損失(△)	△1,981	△2,262
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△33,951	6,256

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△35,932	3,993
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△21,215	△26,333
その他の包括利益合計	△21,215	△26,333
四半期包括利益	△57,147	△22,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△55,162	△20,079
少数株主に係る四半期包括利益	△1,984	△2,260

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△35,177	5,117
減価償却費	80,655	81,294
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△342	△267
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,646	△614
退職給付引当金の増減額(△は減少)	16,692	423
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,225	3,248
受取利息及び受取配当金	△3,362	△593
支払利息	22,526	21,264
固定資産売却損益(△は益)	△915	—
固定資産除却損	1,539	4,732
売上債権の増減額(△は増加)	△49,568	△48,948
たな卸資産の増減額(△は増加)	△26,117	34,226
仕入債務の増減額(△は減少)	△85,975	△25,280
その他	△24,949	14,534
小計	△105,415	89,137
利息及び配当金の受取額	3,362	593
利息の支払額	△22,906	△21,254
役員退職慰労金の支払額	△8,400	△4,100
法人税等の支払額	△3,081	△2,611
営業活動によるキャッシュ・フロー	△136,440	61,764
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△24,048	△21,479
有形固定資産の売却による収入	2,250	—
無形固定資産の取得による支出	△480	△1,713
貸付金の回収による収入	132	—
その他	△24	△2,908
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,169	△26,100
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	250,000	110,000
短期借入金の返済による支出	△302,620	△133,120
長期借入れによる収入	500,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△304,356	△214,968
自己株式の取得による支出	△84	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	142,939	△38,088
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△15,670	△2,424
現金及び現金同等物の期首残高	522,540	541,525
現金及び現金同等物の四半期末残高	506,870	539,101

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,871,911	563,248	2,435,159	—	2,435,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	57	2,056	2,113	△2,113	—
計	1,871,968	565,304	2,437,272	△2,113	2,435,159
セグメント利益	86,009	31,723	117,732	△99,796	17,935

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	117,732
セグメント間取引消去	△1,325
全社費用(注)	△98,471
四半期連結損益計算書の営業利益	17,935

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,891,671	534,549	2,426,221	—	2,426,221
セグメント間の内部売上高 又は振替高	57	2,796	2,853	△2,853	—
計	1,891,728	537,345	2,429,074	△2,853	2,426,221
セグメント利益又は損失(△)	110,242	△3,905	106,336	△97,030	9,306

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	106,336
セグメント間取引消去	△2,215
全社費用(注)	△94,814
四半期連結損益計算書の営業利益	9,306

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績及び仕入実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	前年同四半期比(%)
建設・梱包向	1,500,265	△6.3
電気・輸送機器向	451,366	△6.7
合計	1,951,631	△6.4

(注) 1 金額は、生産実績は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	前年同四半期比(%)
建設・梱包向	1,920,356	+2.6
電気・輸送機器向	530,381	+14.4
合計	2,450,738	+5.0

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	前年同四半期比(%)
建設・梱包向	1,891,671	+1.1
電気・輸送機器向	534,549	△5.1
合計	2,426,221	△0.4

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第2四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	353,545	14.5	426,007	17.5

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。